

下榎交流センターだより

編集 日野町下榎交流センター
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.tottori-hino.lg.jp

【榎の実学習会】「お楽しみ会」

12月18日の学習会で、9年生2人と日野高校生4人で、コミュニケーションを兼ねた「お楽しみ会」を行いました。

今回参加してくれた高校生は、学習会で講師を務めてくれた男子生徒と、解放文化祭で手話講習をしてくれた女子生徒です。4人とも招待状に対して、快く参加を承諾してくれました。

迎える側の9年生2人は、高校生が来るまでに参加者11名分のお好み焼きやアメリカンドッグ等を作る予定でした。1時間という限られた時間の中で、日野学園の3人の先生方にも手伝っていただき、調理を開始しました。

まず最初に、先生と9年生がペアとなって生地を作り、その後、それぞれが分担した料理を作りました。手の空いた先生には、片付け作業を行っ



ていただきました。作業は順調に進んだと思ったのですが、1時間では完成できず、結局招待した日野高生にも手伝ってもらい、

皆で調理をしました。

料理が完成すると、西尾先生の挨拶で会を開始し、料理をいただきながら会話をしました。誰もが

「美味しい、美味しい」と口々に語り合いました。進路決定が近づいた9年生は、高校生活や高校での部活動の話真剣に聞いていました。

お腹がいっぱいになったところで、9年生2人が高校生4人にお礼の挨拶をし、最後は末次先生に締めさせていただきました。9年生にとって学習会最後の「お楽しみ会」は沢山のひとと過ごす密な1時間半となりました。見送りをした後、9年生は「楽しかった」と言いながら片付けをしました。その後、9年生は男子生徒から「2人に」ともらったポテトチップスを嬉しそうに抱えて帰りました。

日野高生が盛り上げてくれて、みんなの声と笑顔が溢れ、本当に楽しい会となりました。



～料理教室～

12月9日、年内最後の料理教室を開催しました。

今回は、お正月に使う材料をアレンジしたおせち風の料理7品を、参加者9人で協力し合いながら作りました。拡大コピーされたメニューのレシピを声に出して読み上げると、誰もが自主的に行動をおこしました。手の空いた人がいないくらい一人一人の役割分担が自然にできていて、チームワークの良さに感動しました。

一つ一つの料理はそれほど難しいものではありませんが、手軽に

作れることと、定番のおせち材料で予想もしない料理ができるというアイデアや料理の美味しさに感動した料理教室でした。

次の料理教室は、令和7年3月に予定しています。ご参加お待ちしております。



《料理献立》

手毬寿司・炒めなます・筍の中華和え・数の子のポテトサラダ・大葉と梅のはんぺんつくね・ちくわの門松・生チョコ餅

第5回 「いまに残る黒坂の町割り」

文：町教育委員会事務局

日野町 歴史 の窓



▲城下町の面影を残す
当時の町名を表した看板

城下町が造られる前の黒坂は、竹やぶが茂り、とても人が住めるような所ではなかったといえます。江戸時代の初期、関一政は伊勢国（三重県）亀山から伯耆国黒坂に配置替えになり、初め日南町生山の亀井山城に仮住まいしつつ、職人などが黒坂に入り作業をしました。城つくりと並行して行われたことでしょう。関氏は伊勢亀山の城下町を造成した経験があり、湿地を埋め山をならし、絵図を見ながら寺社の配置などを検討する様子が想像されます。城を守る侍の屋敷地を殿町（黒坂駅前周辺）。庶民は玉島街道（県道日野溝口線）の沿線に割り振られました。職人らは出身地にち

なんだ生山町（2区）に住み、最初に開けた所を郡町（1区）としました。3区4区は街の中央辺りということでしょう。か、それぞれ中町と黒坂町に。この間の道の突き当りには、藩の命令や知らせが掲示された「制札場」が設けられました。目印になった榎の大木が生えていたからか榎町（5区）に。正法寺付近の天郷川と日野川の合流点付近なので落町、鍛冶職人を多く住ませた所を鍛冶町としたと伝わっています。封建時代には侍を2階から見下ろすことが許されず、多くの民家は藁ぶきの平屋建てでした。今でも「つし造り（※）」の家が残っています。400年前の町割りですが、今の区割りに生きています。

※特別許可を受けて造った、1階に比べて極端に低い倉庫のような2階のある家。

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心！消費生活のはなし



え？え～っ？

〇〇ペイ返金詐欺業者にご注意ください！

〇〇ペイなどのコード決済サービスを悪用して金銭を騙し取る手口に関する相談が、全国の消費生活センターなどに寄せられています。

- ① ネットショッピングで商品を購入・決済後、「欠品のため返金する」という案内が届く。
- ② LINEなどのSNSで返金手続き方法を案内される。
- ③ 相手の指示どおりに操作する。
- ④ 返金されるはずが相手に送金してしまう。

協力機関として、国民生活センター及びJADMA（日本通信販売協会）の名称が表記されていることがありますが、両機関が特定の事業者の取引に協力することはありません。



金銭を騙し取る手口の導入と流れ

メッセージの後に、「コード決済アプリをインストールの後、本人確認完了後、ご連絡ください」といったメッセージが届き、あたかも消費者にコード決済で返金するかのようにはかせます。

★通販サイトを利用する際は、販売業者の所在地や連絡先、販売責任者名など販売業者の情報をしっかり確認しましょう。



日野郡3町では、第1・2・3水曜日に相談員が輪番で対応しています。（くらしのカレンダー参照）

★相談は、消費生活相談窓口（役場産業振興課内）（電話 72-0336 または局番なしの188）へ！